京都大学構内遺跡調査研究年報

昭和60年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

巻首図版　京都大学医学部構内AN18区　梵鐘鋳造遺構SX13(西から)

序

この年報は第Ⅰ部の昭和60年度における構内遺跡の調査報告と第Ⅱ部のそれら遺跡や遺物に関連する研究成果をまとめた研究紀要とからなる。

第Ⅰ部第2章は，医学部構内での調査の報告であり，とくに中世（13世紀前葉）の梵鐘鋳造遺構については昭和56年度の教養部構内の調査で発見した平安時代中期の梵鐘鋳造遺構とあわせて，第Ⅱ部紀要のなかで考察を深めた。第3章は北部構内北端の調査であり，構内では類例の少なかった古墳時代前半の貴重な資料をえた。また中世後半とみられる空堀を発見し，文献などでしられた田中構と関連をもつものとかんがえ，注目している。あらためて考察を深める予定である。

第Ⅱ部は構内遺跡を中心に各地の関連する遺跡について検討した研究成果であり，当研究センターの紀要である。「鴨東白河の鋳物工房」は，先にものべたように梵鐘鋳造遺構について考察したものであり，「瓦の笵と製作技術」は高麗寺系軒丸瓦を検討したものである。

昭和52年に，埋蔵文化財研究センターが設立されてから，すでに10年の歳月がすぎた。その間，調査の体制もしだいに整備され，吉田キャンパスを中心に敷地内の埋蔵文化財について，調査と研究をすすめ，保存と活用の方策をもとめてきた。この調査を通じて，学内の各学部，研究所，研究施設などの研究室をはじめ，学外の研究機関の積極的協力をえて，学際的研究をすすめ，当研究センターはその核の役割をはたし，大きい成果をあげることができた。この年報にも，その成果の一端が反映されている。

今回も学内，学外の多くの方々から御指導，御助言をいただき，調査の全般にわたって施設部，医学部，農学部の関係各位の御協力をいただいた。ここに厚くお礼申しあげるとともに，今後とも学内，学外の方々の御指導と御協力をおねがいするしだいである。

昭和62年12月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

西　川　幸　治

例　　言

1　本年報は，京都大学構内で昭和60年４月１日から同61年３月31日までに発掘，整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告，および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。

2　国土座標にしたがって一辺50ｍの方形の地区割りをして，遺跡の位置を表示した。

3　層位と遺構の位置については，国土座標第６座標系（ｘ＝－108,000　ｙ＝－20,000）が（Ｘ＝2,000　Ｙ＝2,000）となる京都大学構内座標によって表示した。

4　遺構の略号は，奈良国立文化財研究所の方式にしたがって，井戸：ＳＥ，土坑：ＳＫのように表示し，各調査ごとに通し番号を１から付した。

5　遺物には，遺跡の調査名を示すローマ数字と，調査ごとの通し番号を１から付した。この遺物番号は，本文，実測図，写真を通して表示を統一した。

Ⅰ：京都大学医学部構内ＡＮ18区の発掘調査

Ⅱ：京都大学北部構内ＢＪ31区の発掘調査

（例Ⅰ１：京都大学医学部構内ＡＮ18区出土遺物１番）

6　原則として，遺物の実測図は縮尺1/4，遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは，それぞれに縮尺を明記した。

7　第Ⅰ部の参考文献は，本文中に，〔著者名　発表年〕の形式で表わし，第Ⅰ部の末に一括した。第Ⅱ部については，各章末の注に一括して記載した。

8　遺構・遺物の実測と製図は，清水芳裕，五十川伸矢，浜崎一志，宮本一夫，三宅由美，菅井敏美，千葉豊，寺島千春，谷口由利子，西川恵美子がおこなった。遺物の撮影は清水芳裕，宮本一夫が担当した。

9　本文は，西川幸治，久馬一剛，五十川伸矢，宮本一夫，菱田哲郎，難波洋三が各章を分担執筆した。執筆者名は，各章の初めに記した。

10　編集は，五十川伸矢が担当し，清水芳裕，浜崎一志，宮本一夫，難波洋三，千葉豊，菅原令子，西川恵美子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報　昭和60年度

目　　次

第Ⅰ部　昭和60年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第１章　昭和60年度京都大学構内遺跡調査の概要 …… 1

1　調査の大要 …… 1

2　調査の成果 …… 1

第２章　京都大学医学部構内ＡＮ18区の発掘調査 …… 3

1　調査の経過 …… 3

2　層　　位 …… 3

3　古代・中世の遺跡 …… 5

4　梵鐘鋳造遺構 …… 15

5　近世の遺跡 …… 18

6　小　　結 …… 20

第３章　京都大学北部構内ＢＪ31区の発掘調査 …… 21

1　調査の経過 …… 21

2　層　　位 …… 21

3　遺　　構 …… 23

4　遺　　物 …… 26

5　小　　結 …… 29

参　考　文　献 …… 32

京都大学構内遺跡調査要項 …… 34

第Ⅱ部　京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 Ⅵ

鴨東白河の鋳物工房 …… 43

——京都大学構内の鋳造に関する遺跡——

1　はじめに …… 43

2　教養部構内ＡＰ22区の鋳造遺構と出土遺物 …… 44

3　医学部構内ＡＮ18区の鋳造遺構と出土遺物 …… 48

4　そのほかの鋳造に関する遺跡 …… 52

5　鴨東白河の鋳造工房 …… 53

瓦の笵と製作技術 …… 57

——高麗寺系軒丸瓦の検討——

1　はじめに …… 57

2　高麗寺跡出土軒丸瓦 …… 59

3　高麗寺系軒丸瓦の展開 …… 64

4　寺院と瓦工人 …… 69

図　　版 …… 巻末

図 版 目 次

巻首図版　京都大学医学部構内ＡＮ18区

梵鐘鋳造遺構ＳＸ13（西から）

1　京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

2　京都大学医学部構内ＡＮ18区

1　調査区全景（北東から）　2　調査区北半全景（東から）

3　京都大学医学部構内ＡＮ18区

1　井戸ＳＥ５（北から）　2　井戸ＳＥ36（西から）

3　井戸ＳＥ８（北西から）　4　土坑ＳＫ６（西から）

5　道路ＳＦ１断面，溝ＳＤ３・ＳＤ９・ＳＤ11・ＳＤ12（西から）

4　京都大学医学部構内ＡＮ18区

1　道路ＳＦ１（東から）　2　溝ＳＤ19（北西から）

5　京都大学医学部構内ＡＮ18区

ＳＥ36・ＳＫ31・ＳＲ１・ＳＤ11出土遺物

6　京都大学医学部構内ＡＮ18区

ＳＤ９・ＳＫ24・ＳＸ６出土遺物

7　京都大学医学部構内ＡＮ18区

ＳＸ13出土鋳型

8　京都大学北部構内ＢＪ31区

1　流路ＳＲ２（東から）　2　建物ＳＢ１（東から）

9　京都大学北部構内ＢＪ31区

1　流路ＳＲ２・建物ＳＢ１と中世の溝群（東から）

2　流路ＳＲ１と近世の溝群（西から）

10　京都大学北部構内ＢＪ31区

ＳＲ２・黄褐色砂質土・茶褐色土・茶褐色砂質土出土遺物

11　京都大学北部構内ＢＪ31区

1　ＳＲ２・茶褐色砂質土・灰褐色土・ＳＤ６出土遺物

2　ＳＲ１・茶褐色土・灰褐色土出土遺物

挿図目次

医学部構内ＡＮ18区の発掘調査

図１　調査区東西畔の層位…… 4
図２　古代・中世の遺構…… 5
図３　井戸ＳＥ５・ＳＥ36・ＳＥ８，土坑ＳＫ６…… 7
図４　ＳＥ36出土遺物…… 8
図５　13～14世紀の土師器皿・椀の変遷…… 9
図６　ＳＲ１・ＳＥ36・ＳＤ11・ＳＫ31出土遺物……11
図７　ＳＤ９出土遺物……12
図８　ＳＫ24出土遺物……13
図９　梵鐘鋳造遺構ＳＸ13……15
図10　ＳＸ13・ＳＸ17出土梵鐘鋳型…17
図11　近世の遺構……18
図12　道路ＳＦ１の断面……19

北部構内ＢＪ31区の発掘調査

図13　調査区北壁の層位……22
図14　古代の遺構……24
図15　中世の遺構……25
図16　近世の遺構……25
図17　ＳＲ２・黄褐色砂質土・茶褐色土・茶褐色砂質土出土遺物…27
図18　ＳＲ１・茶褐色土・茶褐色砂質土出土遺物……28

鴨東白河の鋳物工房

図19　溶　解　炉……44
図20　梵鐘鋳造坑ＳＫ257 ……45
図21　梵鐘鋳造坑ＳＫ257・ＳＫ245……45
図22　ＡＰ22区出土の鋳型，煉瓦，鞴の羽口，坩堝……47
図23　鋳造工房の復原……47
図24　梵鐘鋳造遺構ＳＸ13……49
図25　半鐘の鋳造例……49
図26　京都太秦広隆寺蔵の梵鐘……51
図27　ＳＸ13出土鋳型から復原した梵鐘……51
図28　ＡＪ19区出土の鋳型，鞴の羽口，坩堝……52

瓦の笵と製作技術

図29　笵の復原……58
図30　軒丸瓦の部分名称……59
図31　高麗寺跡出土軒丸瓦……60・61
図32　高麗寺系軒丸瓦……65
図33　雪野寺跡出土軒丸瓦の接合法…67
図34　４重弧文軒平瓦……68

表目次

表１　ＳＥ36出土遺物…… 8
表２　京都大学構内遺跡のおもな調査……38
表３　高麗寺系軒丸瓦の要素……64

正　誤　表

京都大学構内遺跡調査研究年報　昭和60年度

頁	行	誤	正
16	3	蒲	浦
16	17，18	草の間	池の間
20	9	みれ〔中村直41〕，	みえ〔中村直41〕，
21	13	燃き打ちされ，	焼き打ちされ，
43	15	構内東辺	構内西辺
47	図23	ＳＫ265とＳＫ245とを入れ替え	
48	3，21，25	ＳＫ13	ＳＸ13

第Ⅰ部　昭和60年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第１章　昭和60年度京都大学構内遺跡調査の概要

第２章　京都大学医学部構内ＡＮ18区の発掘調査

第３章　京都大学北部構内ＢＪ31区の発掘調査

第Ⅱ部　京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 Ⅵ

鴨東白河の鋳物工房
——京都大学構内の鋳造に関する遺跡——

瓦の笵と製作技術
——高麗寺系軒丸瓦の検討——

昭和63年３月22日発行

京都大学構内遺跡調査研究年報

昭和60年度

編集
発行　京都大学埋蔵文化財研究センター
京都市左京区吉田本町

印刷
製本　山代印刷株式会社
京都市上京区寺之内通小川西入